



流域治水と連携した田んぼダムの普及・拡大について

1 「田んぼダムの手引き」について

○ 農林水産省農村振興局整備部では、流域治水の取組の一環として、「水田の活用（田んぼダム）」を推進するとしており、その導入に当たり「田んぼダム」の手引きが令和4年4月28日に同省ホームページにて公表されています。

※農林水産省ホームページ

https://www.maff.go.jp/j/nousin/mizu/kurasi_agwater/ryuwiki_tisui.html

（担当：農林水産省農村振興局整備部 水資源課農業用水対策室（内線 5516）

農地資源課経営体育成基盤整備推進室（内線 5614））

2 田んぼダムの普及・拡大

○ 県では、将来予想される気候変動の影響による被害の防止・軽減対策として、水田の持つ雨水貯留機能を最大限に活用し、下流の市街地、河川等への流出を抑制する「田んぼダム」の取組を進めており、令和3年6月、大崎管内の市町、土地改良区、農業者が参画した「宮城県田んぼダム実証コンソーシアム」を設立し、地域の取組を支援しています。

○ 農政部農村振興課では、田んぼダムの仕組みや役割について、持続的な県民理解の向上、醸成を目的として動画を作成し、YouTube 配信しています。（写真-1）



（写真-1）模型を用いた体験学習会（古川第5小学校）

■ 県内の田んぼダムの取組み（R3実績）

